

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（しもきた） 下北森林計画区 （青森県）	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、青森県下北半島の全域を範囲とする下北森林計画区内の国有林野87,068 h a を対象としている。</p> <p>当計画区は、恐山火山郡等の山岳地帯と東通地区の丘陵地帯に大別され、地形は、最高峰が釜臥山（標高879m）で、平館海峡、津軽海峡に面した一部地域は急傾斜地であるが、その他は緩やかな地形となっている。</p> <p>林況については、山岳部にヒバやブナを始めとする国内でも有数の針広混交林の天然林が広がっており、丘陵部はスギを主とする人工林が多く、その中でも昭和30年代以降に造成された森林が多い。</p> <p>当計画区は、国有林野面積の86%が保安林に指定されており、地域の水源地帯として水源かん養機能の高度発揮が強く求められているほか、民家の直近まで国有林が存在するため、山地災害防止機能についても、その発揮が強く求められている。</p> <p>また、当地域は、古くからヒバの生産・加工で栄えてきた林業地域であるが、現在は、戦後造林されたスギ等が収穫期を迎え、伐採量の増加が見込まれており、スギ合板用材等の需要が伸びつつある地域である。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策、水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">1,233 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">5,805 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">59.1 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,233 h a			保育面積	5,805 h a		路網整備	開設延長	59.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,233 h a												
		保育面積	5,805 h a												
	路網整備	開設延長	59.1 km												
費用対効果分析	総 便 益（B）	12,605,858 千円													
	総 費 用（C）	3,000,235 千円													
	分析結果（B/C）	4.20													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化対策や国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	（まべちがわじょうりゅう） 馬淵川上流森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 岩手北部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、岩手県北西部に位置する馬淵川上流森林計画区内の国有林野33,326 h aを対象としている。</p> <p>当計画区は、西に奥羽山脈、南に岩手山、東に北上山地が連なっており、これら山地に囲まれた地域にある。</p> <p>林況については、山岳部がブナを主体とする広葉樹の天然林が大半を占め、丘陵部はスギ、カラマツを主体とする人工林となっている。</p> <p>当計画区は、水源かん養保安林を主とする保安林が国有林の67%となっており、下流の水道用水や農業等産業用水の水源として重要な役目を担っている。このほか、「安比森林スポーツ林」始めとして、スキーや登山など森林を利用したレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに、当地域は、従来から南部アカマツ、浄法寺漆、しいたけ、木炭といった林産物の国内有数の産地であり、近年、市場からも評価が高まっていることから、これらの活用や地域材であるカラマツのブランド化、木質バイオマスの利活用促進など、林業・木材産業の活性化に対する期待が高い地域である。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">332 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,590 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">56.1 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	332 h a			保育面積	2,590 h a		路網整備	開設延長	56.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	332 h a												
		保育面積	2,590 h a												
	路網整備	開設延長	56.1 km												
費用対効果分析	総便益（B）	7,675,791 千円													
	総費用（C）	2,239,321 千円													
	分析結果（B/C）	3.43													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：地球温暖化対策や国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、実施の必要性が認められる。 ・効率性：費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成21年度～平成25年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	（みやぎほくぶ） 宮城北部森林計画区 （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>当事業は、宮城北部森林計画区内の国有林野70,463haを対象としている。当計画区は、奥羽山脈の山岳地帯、北上山地の丘陵地帯、及びこの2つの地帯に挟まれた平野部からなっている。</p> <p>林況については、山岳地帯の上部はブナの天然林、下部はミネカエデやミズナラを主とする天然林、丘陵地帯はスギ、アカマツを主とする人工林、海岸地帯はアカマツ、クロマツ、モミを主とする天然林、平野部はスギを主とし、ヒノキが混交する人工林など、山岳部から海岸部にかけて多様な森林が構成されている。</p> <p>当地域は、これらの豊かな森林資源を利用した木材加工が従来から発達しているほか、キノコや山菜等林産物を利用した食品加工工業が重要な産業となっている。また、平野部は我が国有数の穀倉地帯の大崎平野をはじめとする水田地帯が広がっているほか、沿岸地帯は養殖等の漁業が行われており、国有林はこれらの源流部等の重要な水源地帯に位置している。</p> <p>このほか当計画区内は、優れた自然景観を有する森林が多いことから、国定公園、自然公園に指定されている地域が多く、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通して多くの人々に利用されている。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止対策や水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">398 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">3,758 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">44.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">0.1 km</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	398 ha			保育面積	3,758 ha		路網整備	開設延長	44.6 km			改良延長	0.1 km
主な事業内容	森林整備	更新面積	398 ha																
		保育面積	3,758 ha																
	路網整備	開設延長	44.6 km																
		改良延長	0.1 km																
費用対効果分析	総 便 益 (B)	6,635,410 千円																	
	総 費 用 (C)	1,512,366 千円																	
	分析結果 (B/C)	4.39																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化対策や国土保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		